

# 札幌圏・後志圏中小企業景気動向調査

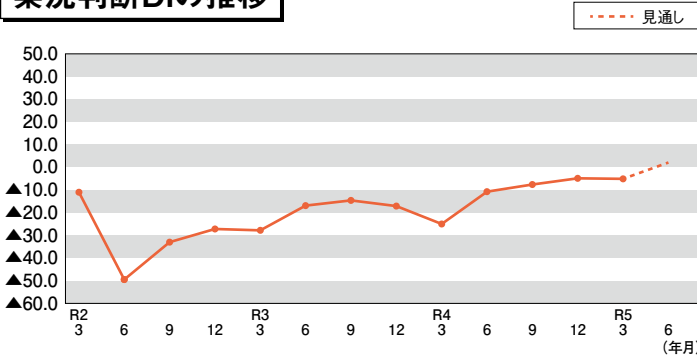
## 調査の概要

- 調査時期：令和5年3月1日～7日
  - 調査対象：札幌圏(札幌、石狩、空知) 後志圏(後志、渡島)
  - 対象企業数：当金庫のお取引先340社  
回答数340社(札幌圏235社・後志圏105社) 回答率100%
  - 分析方法：DIを中心とした分析。  
DI=「良い・増加・上昇した先の割合」-「悪い・減少・下降した先の割合」  
DI>0→良い・増加・上昇 DI<0→悪い・減少・下降
  - その他：「中小企業におけるデジタル化への対応について」
- ※DI(景気動向指数)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良いと回答した企業の割合から、悪いと回答した企業の割合を減じた数値。景気動向の変化の方向性をみるものです。

## 全業種総合

### 札幌圏・後志圏

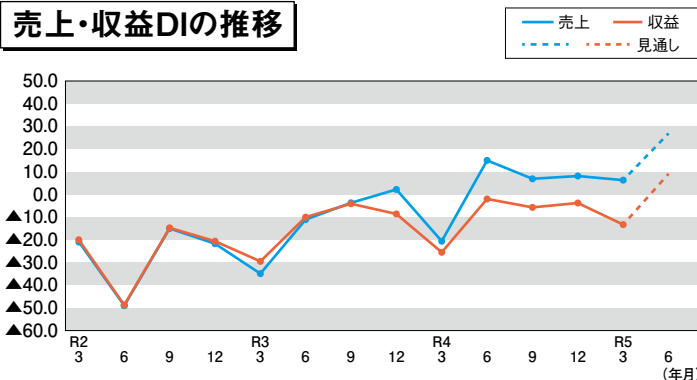
#### 業況判断DIの推移



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲6.1と前期から0.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.2ポイント上昇する見通し。

#### 売上・収益DIの推移



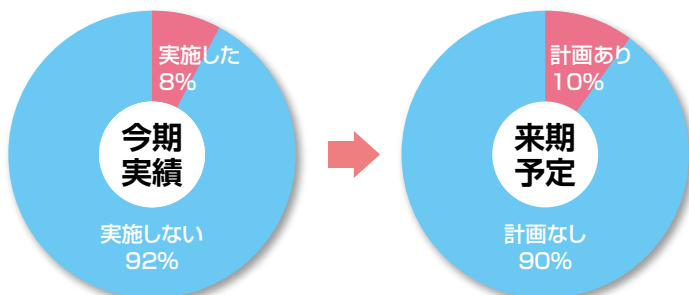
#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は6.3と前期から1.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から20.6ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲13.3と前期から9.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から22.4ポイント上昇する見通し。

#### 設備投資動向

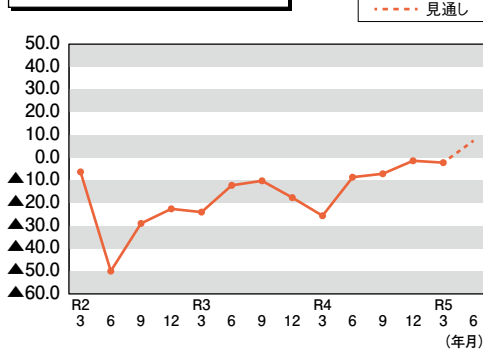


経営上の問題点(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
材料価格の上昇	32.6	34.4
利幅の縮小	31.2	25.6
売上の停滞・減少	27.1	29.7

当面の重点施策(複数回答)	今期 (%)	前期 (%)
経費を節減する	56.8	55.0
販路を広げる	31.8	32.9
人材を確保する	25.9	27.9

# 札幌圏

## 業況判断DIの推移



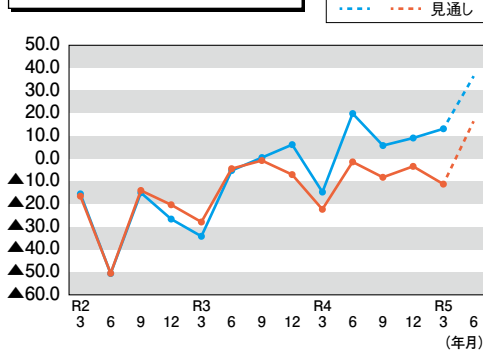
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲2.2と前期から0.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から9.7ポイント上昇する見通し。

## 売上・収益DIの推移



コメント



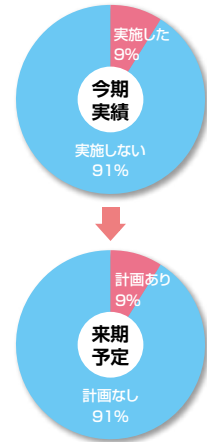
### ○売上DI～上昇↑

- ・今期は13.2と前期から4.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から23.2ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲11.2と前期から7.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から27.7ポイント上昇する見通し。

## 設備投資動向



(%)

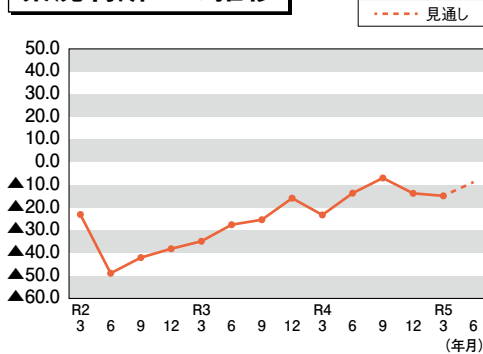
経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
材料価格の上昇	33.6	33.6
同業者間の競争激化	28.5	25.5
利幅の縮小	28.1	—

(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	55.7	54.5
販路を広げる	33.6	32.8
人材を確保する	24.7	27.7

# 後志圏

## 業況判断DIの推移



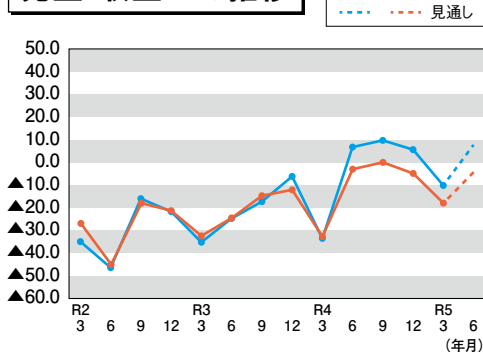
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲14.9と前期から1.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から6.2ポイント上昇する見通し。

## 売上・収益DIの推移



コメント



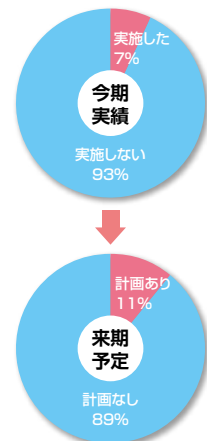
### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲10.3と前期から15.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から18.0ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲18.1と前期から13.1ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.8ポイント上昇する見通し。

## 設備投資動向



(%)

経営上の問題点(複数回答)	今期	前期
利幅の縮小	38.1	34.3
売上の停滞・減少	30.5	35.2
材料価格の上昇	30.5	36.2

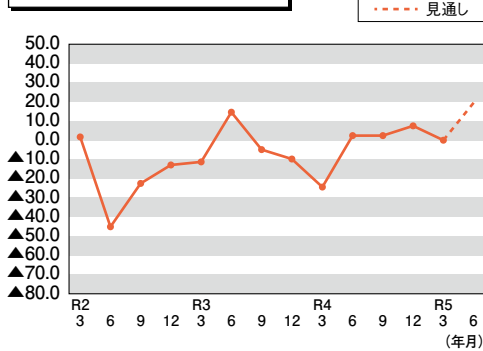
(%)

当面の重点施策(複数回答)	今期	前期
経費を節減する	59.0	56.2
人材を確保する	28.6	28.6
販路を広げる	27.6	33.3

# 製造業

## 札幌圏 (調査数41社・回答数41社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



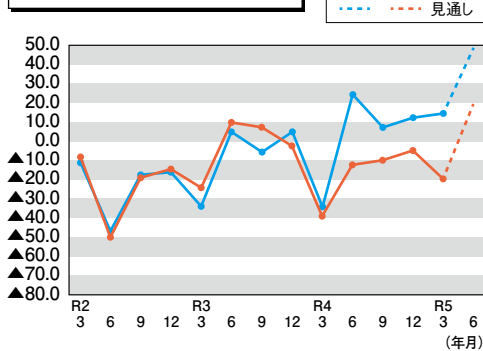
### コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から7.3ポイント低下した。
- ・来期は今期から19.5ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



### ○売上DI～上昇↑

- ・今期は14.6と前期から2.4ポイント上昇した。
- ・来期は今期から34.2ポイント上昇する見通し

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲19.5と前期から14.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から39.0ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・木造・家具

依然として原材料や燃料の価格高騰が続いており、価格転嫁を図るも利益確保ができていない。しかし、徐々に受注も増加しつつあり、売上の増加が見込まれる。

#### ・金属製建具

原材料となる金属資材の高騰が続いており、受注先との価格交渉が難しくなっている。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	68.3
同業者間の競争激化	31.7
売上の停滞・減少	26.8

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	68.3
販路を広げる	46.3
人材を確保する	26.8

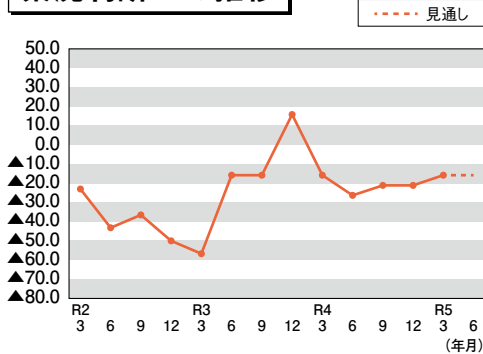
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	12.2
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数19社・回答数19社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



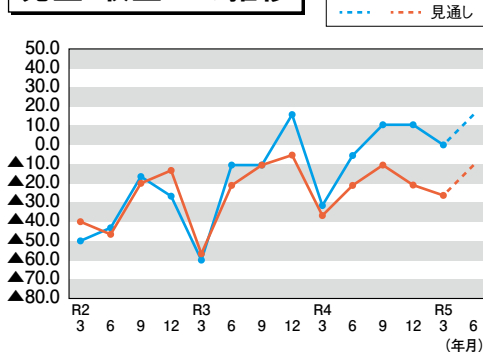
### コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は▲15.8と前期から5.3ポイント上昇した。
- ・来期は▲15.8と横ばいの見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント



### ○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から10.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.8ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲26.3と前期から5.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から15.8ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・コーヒー豆焙煎・パン

原材料価格の高騰に伴い、価格転嫁が十分ではなく利益が減少。人件費も上昇しており、経費見直しを図っている。

#### ・水産加工品

店頭販売の売上は減少傾向にあるが、通信販売、ふるさと納税の返礼品による売上が増加傾向にある。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	57.9
利幅の縮小	47.4
売上の停滞・減少	26.3

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	57.9
販路を広げる	47.4
人材を確保する	26.3

### 設備投資動向(%)

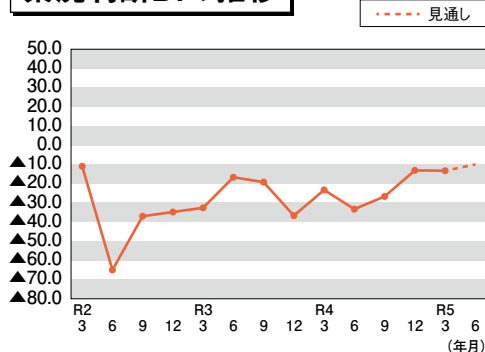
今期設備投資を実施した	21.1
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	21.1

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 卸売業

## 札幌圏 (調査数30社・回答数30社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移

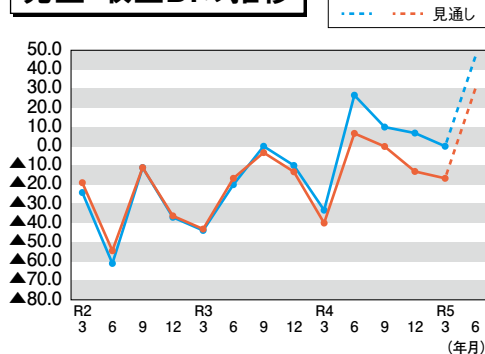


### コメント

#### ○業況判断DI～横ばい→

- ・今期は▲13.3と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から3.3ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント

#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から6.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から46.7ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲16.7と前期から3.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から46.7ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・医療機械

現状はコロナの特需あり、増収増益。春先にコロナが5類へ分類された場合減収の懸念あり。

#### ・建築資材

建設資材の価格が高騰しているため、新築住宅の価格が大幅に値上がりしている。そのため、お客様が購入を見送ることから受注が減少傾向にある。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

利幅の縮小	46.7
仕入先からの値上げ要請	46.7
同業者間の競争激化	36.7

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

販路を広げる	63.3
経費を節減する	60.0
情報力を強化する	33.3

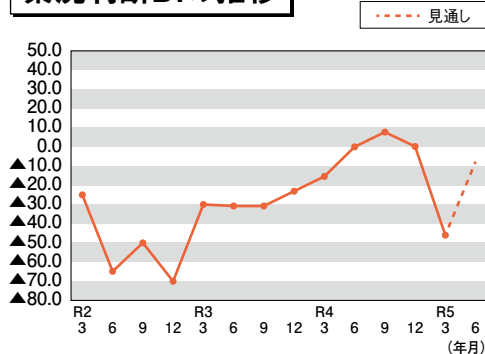
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	3.3

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数13社・回答数13社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移

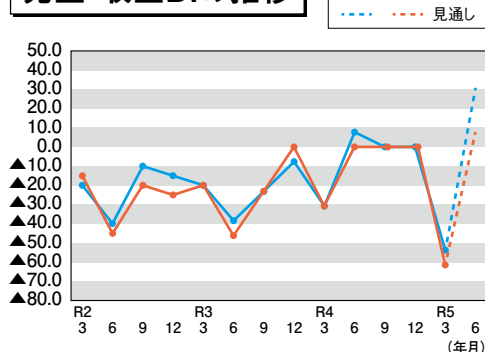


### コメント

#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲46.2と前期から46.2ポイント低下した。
- ・来期は今期から38.5ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



### コメント

#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲53.8と前期から53.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から84.6ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲61.5と前期から61.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から69.2ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・農産物

九州地方の馬鈴薯の豊作から、価格が低迷し収益が減少。資材価格も高騰しているため、厳しい状況が続いている。

#### ・ダンボール

資材高騰の影響により、利幅が減少傾向にある。水産物の売行きが低調のため、受注が減少している。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

利幅の縮小	61.5
売上の停滞・減少	38.5
同業者間の競争激化	38.5

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	69.2
販路を広げる	61.5
情報力を強化する	23.1

### 設備投資動向(%)

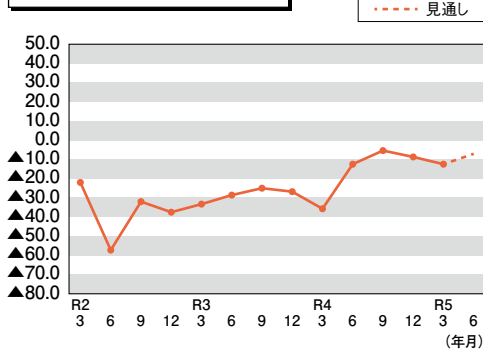
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 小売業

## 札幌圏 (調査数56社・回答数56社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



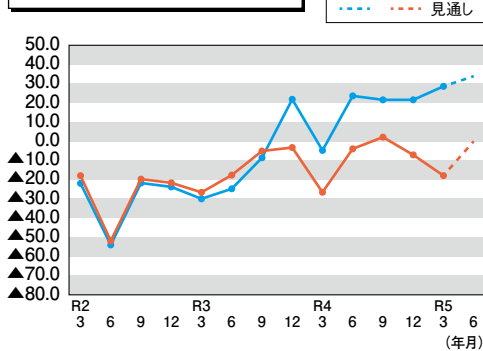
コメント



### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲12.5と前期から3.6ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.3ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～上昇↑

- ・今期は28.6と前期から7.2ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.3ポイント上昇する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲17.9と前期から10.8ポイント低下した。
- ・来期は今期から17.9ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・食料品

巣ごもり需要が落ち着いたことから、売上、利益ともに減少している。また、商品の仕入も上がっており、一人あたりの購入単価も減少傾向にある。

#### ・燃料

原油価格の高止まりが続いているが、昨年ほどの値動きは少なく販売価格へ転嫁できている。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

仕入先からの値上げ要請	35.7
利幅の縮小	33.9
同業者間の競争激化	30.4

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.7
売れ筋商品を取扱う	23.2
人材を確保する	19.6

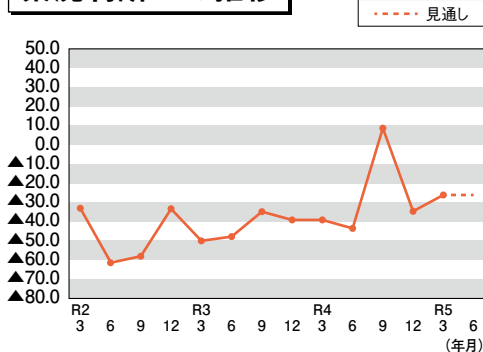
### 設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施した	3.6
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	8.9

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



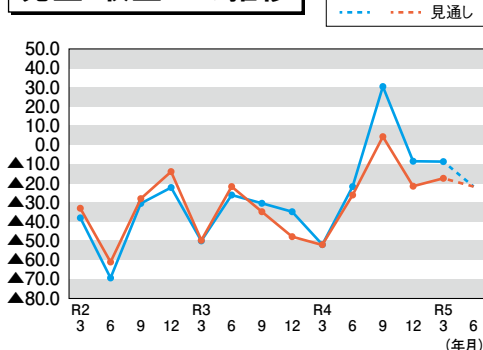
コメント



### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は▲26.1と前期から8.7ポイント上昇した。
- ・来期は▲26.1と横ばいの見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～横ばい→

- ・今期は▲8.7と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から13.0ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は▲17.4と前期から4.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から4.3ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・飲食料品

コロナの影響を大きく受けてきたが、以前より海外からの観光客も増加しており、今後の売上に期待している。

#### ・ガソリンスタンド

燃料価格は高止まりだが、工事関係や除雪関連車両もあり、販売量に大きな変動はない。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

商圏人口の減少	34.8
売上の停滞・減少	30.4
利幅の縮小	30.4

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	60.9
人材を確保する	34.8
売れ筋商品を取扱う	30.4

### 設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施した	4.3
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	13.0

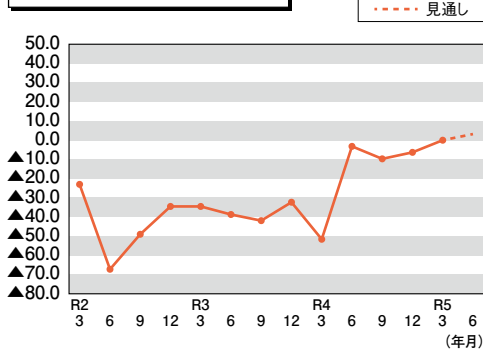
(不動産、機械、事務機器、車両等)



# サービス業

## 札幌圏 (調査数31社・回答数31社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



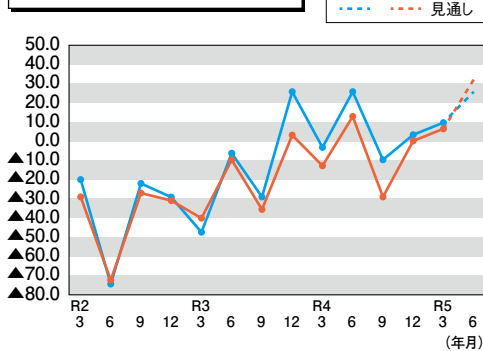
コメント



#### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は0.0と前期から6.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期より3.2ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



#### ○売上DI～上昇↑

- ・今期は9.7と前期から6.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期より16.1ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は6.5と前期から6.5ポイント上昇した。
- ・来期は今期から25.8ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・飲食

材料の高騰により仕入単価が上昇し利益を圧迫している。一方、コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあるため集客は昨年よりも良好で、売上は増加している。

#### ・ホテル

インバウンド需要によって業況は改善してきている。今後も予約を相応に確保し、堅調に推移する見込み。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	45.2
同業者間の競争激化	32.3
人手不足	29.0

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	48.4
販路を広げる	41.9
人材を確保する	29.0

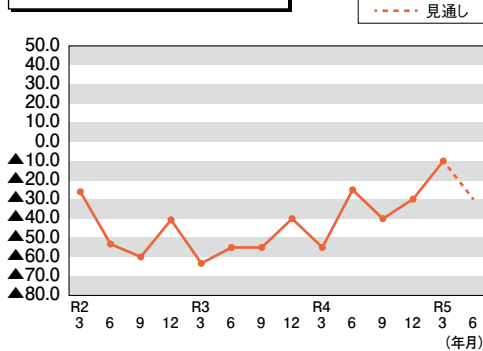
### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	22.6
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



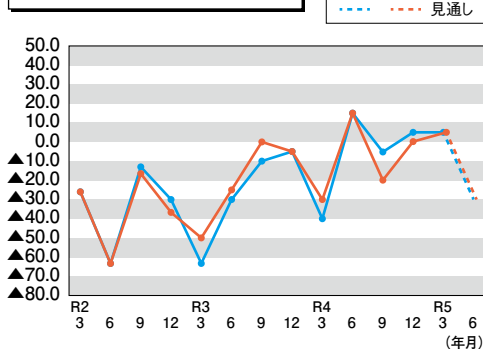
コメント



#### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は▲10.0と前期から20.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から20.0ポイント低下する見通し。

### 売上・収益DIの推移



コメント



#### ○売上DI～横ばい→

- ・今期は5.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から35.0ポイント低下する見通し。

#### ○収益DI～上昇↑

- ・今期は5.0と前期から5.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から35.0ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

#### ・運搬

人件費を主とした経費の増加はあるが、受注数は順調に増加している。

#### ・旅館

昨年同時期に比べ、外国人観光客が増加したことから、12～2月はほぼ満室稼働。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

売上の停滞・減少	40.0
利幅の縮小	40.0
材料価格の上昇	30.0

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	70.0
宣伝・広告を強化する	30.0
人材を確保する	30.0

### 設備投資動向(%)

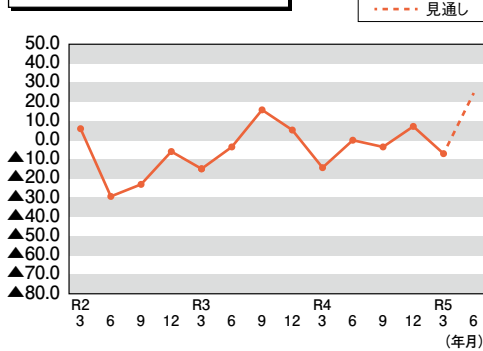
今期設備投資を実施した	0.0
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	0.0

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 建設業

## 札幌圏 (調査数57社・回答数57社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



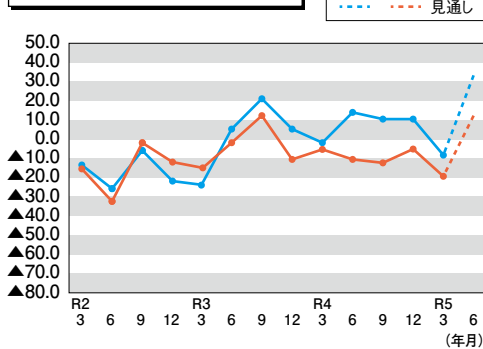
#### コメント



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は▲7.0と前期から14.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.6ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



#### コメント



#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲8.0と前期から18.5ポイント低下した。
- ・来期は今期から41.3ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲19.3と前期から14.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から31.6ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・内装工事

原材料価格の高騰が続いており、徐々に上昇分の価格転嫁を実施し、利益の改善が図られている。繁忙期に向け人手不足が懸念される。

#### ・大工事

新築用地の確保はできているが、建築資材の納入遅れにより工事完成までの期間が長くなっている。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

原材料高	64.9
人手不足	38.6
利幅の縮小	26.3

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	47.4
販路を広げる	36.8
人材を確保する	31.6

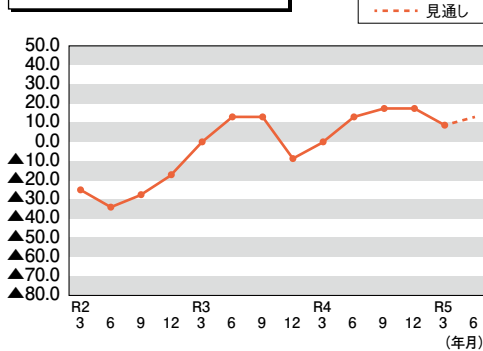
#### 設備投資動向(%)

今期設備投資を実施した	8.8
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	10.5

(不動産、機械、事務機器、車両等)

## 後志圏 (調査数23社・回答数23社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



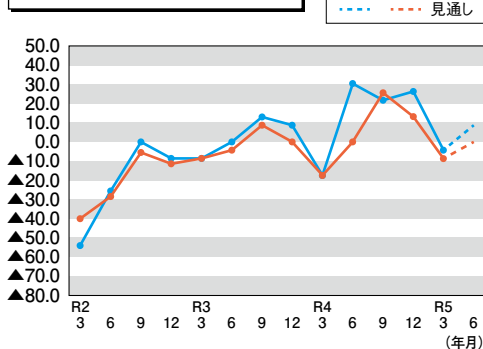
#### コメント



#### ○業況判断DI～低下↓

- ・今期は8.7と前期から8.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から4.3ポイント上昇する見通し。

### 売上・収益DIの推移



#### コメント



#### ○売上DI～低下↓

- ・今期は▲4.3と前期から30.4ポイント低下した。
- ・来期は今期から13.0ポイント上昇する見通し。

#### ○収益DI～低下↓

- ・今期は▲8.7と前期から21.7ポイント低下した。
- ・来期は今期から8.7ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

#### ・土木設備

原材料の価格が高騰しているが、販売価格に転嫁しきれず利益が減少。経費の見直しを行う方針。

#### ・建築

安定した受注はあるが、人材不足や現場従業員の高齢化が課題で、人員確保や若手従業員の育成への注力が必要である。

#### 経営上の問題点(複数回答)(%)

材料価格の上昇	65.2
人手不足	52.2
利幅の縮小	34.8

#### 当面の重点施策(複数回答)(%)

人材を確保する	56.5
経費を節減する	52.2
技術力を高める	47.8

#### 設備投資動向(%)

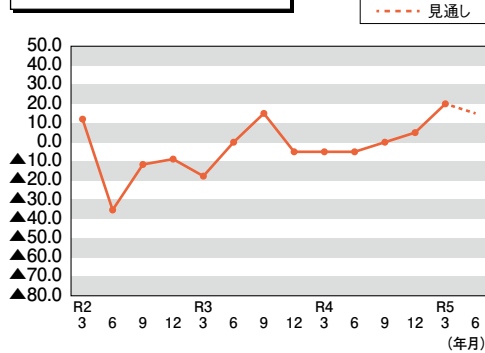
今期設備投資を実施した	8.7
今後3ヶ月以内に設備投資の計画あり	17.4

(不動産、機械、事務機器、車両等)

# 不動産業

## 札幌圏 (調査数20社・回答数20社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



コメント



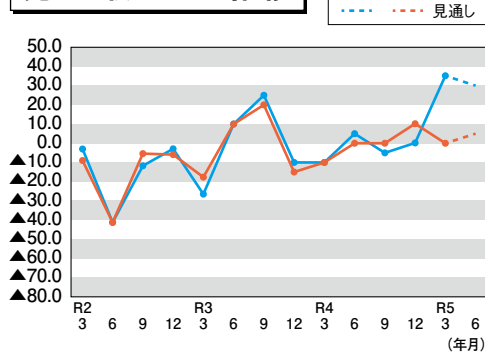
### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は20.0と前期から15.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

### 企業のコメント

- ・**不動産賃貸**  
不動産賃貸収入は安定して推移。不動産の仕入販売に力を入れるため、人材を必要としている。
- ・**土地・建物**  
土地の価格上昇により仕入が容易ではない。地方の物件の情報を取得し、販路を拡大していく方針。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～上昇↑

- ・今期は35.0と前期から35.0ポイント上昇した。
- ・来期は今期から5.0ポイント低下する見通し。

### ○収益DI～低下↓

- ・今期は0.0と前期から10.0ポイント低下した。
- ・来期は今期から5.0ポイント上昇する見通し。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

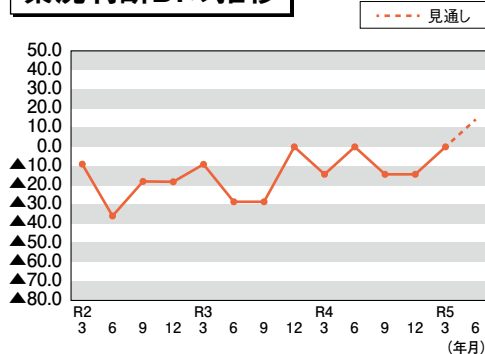
商品物件の高騰	70.0
売上の停滞・減少	30.0
同業者間の競争激化	25.0

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

経費を節減する	45.0
情報力を強化する	45.0
販路を広げる	35.0

## 後志圏 (調査数7社・回答数7社・回答率100%)

### 業況判断DIの推移



コメント



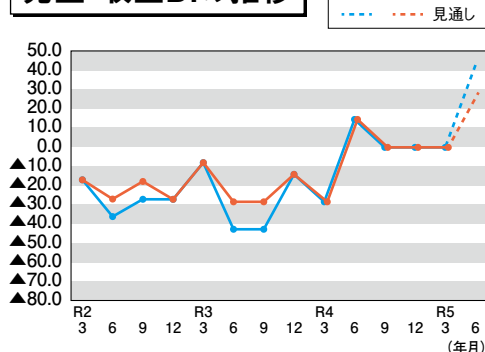
### ○業況判断DI～上昇↑

- ・今期は0.0と前期から14.3ポイント上昇した。
- ・来期は今期から14.3ポイント上昇する見通し。

### 企業のコメント

- ・**不動産売買**  
建築資材の高騰などから、宅地売却の動きが低調である。
- ・**アパート・一般住宅・仲介**  
町内、近郊で物件を確保するのが困難である。人口が減少傾向にあるため仲介等の件数も伸び悩んでいる。

### 売上・収益DIの推移



コメント



### ○売上DI～横ばい→

- ・今期は0.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から42.9ポイント上昇する見通し

### ○収益DI～横ばい→

- ・今期は0.0と前期から横ばいとなった。
- ・来期は今期から28.6ポイント上昇する見通し。

### 経営上の問題点(複数回答)(%)

同業者間の競争激化	42.9
大手企業との競争激化	28.6
商品物件の不足	28.6

### 当面の重点施策(複数回答)(%)

情報力を強化する	71.4
宣伝・広告を強化する	42.9
経費を節減する	28.6



# 特別調査

## 「中小企業におけるデジタル化への対応について」

回答数340社(札幌圏・後志圏) 回答率100%

### 問1

2023年10月に開始予定の「インボイス制度(適格請求書等保存方式)」へ向けて、貴社ではどのように対応していますか。現在「課税事業者」、「免税事業者」それぞれあてはまるものをお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
<b>課税事業者</b>							
1. 既に登録申請を行った	49.1%	44.2%	44.9%	44.9%	43.8%	46.2%	45.4%
2. まだ登録申請をしていない	49.2%	51.1%	48.7%	51.0%	53.7%	50.0%	50.7%
3. 「インボイス制度」自体わからない	1.7%	4.7%	6.4%	4.1%	2.5%	3.8%	3.9%
<b>免税事業者</b>							
4. 既に登録申請を行った	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
5. 近いうちに登録申請を行う予定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 登録申請は行わない予定(免税事業者のまま)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. まだ対応方針は決めていない	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	80.0%
8. 「インボイス制度」自体わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

0 20 40 60 80 100

### 問2

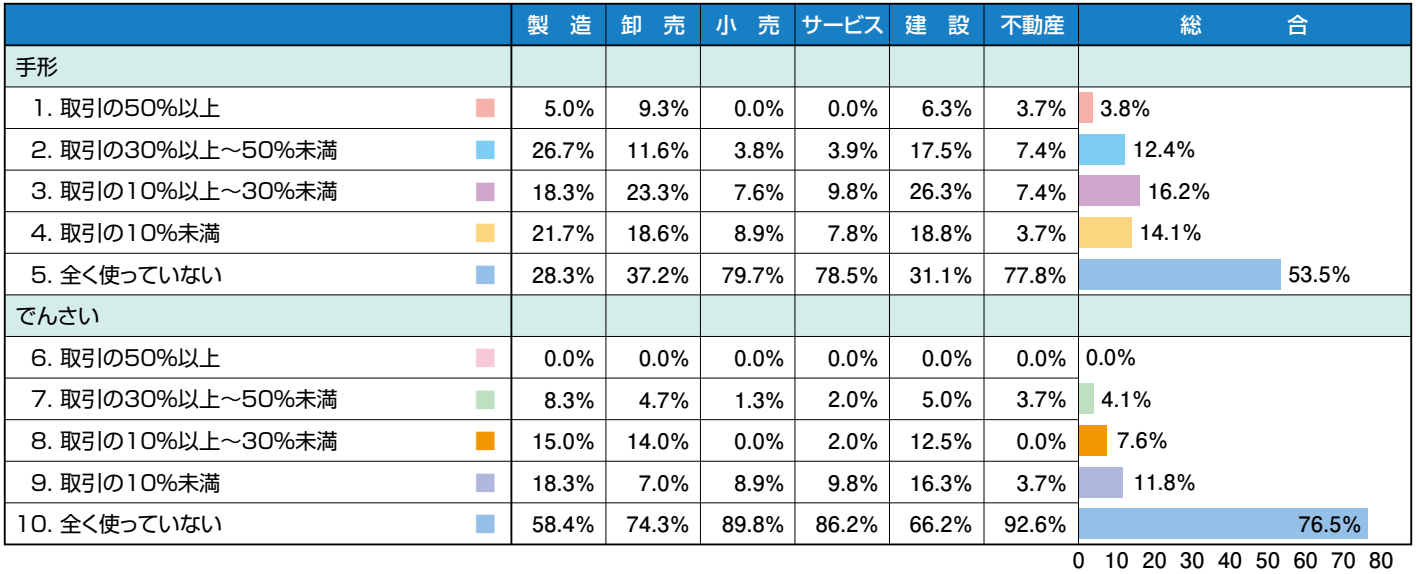
電子帳簿保存法(電帳法)が改正され、電子データを一定の要件を満たした形で保存することが必要となりました。貴社の認知度と対応をお答えください。

	製造	卸売	小売	サービス	建設	不動産	総合
<b>認知度</b>							
1. 内容までよく知っている	15.0%	16.3%	7.6%	13.7%	17.5%	7.4%	13.2%
2. 意味はある程度わかる	73.3%	53.5%	54.4%	60.8%	65.0%	63.0%	61.8%
3. 名前しか知らない	10.0%	27.9%	29.1%	19.6%	17.5%	29.6%	21.5%
4. 聞いたことがない	1.7%	2.3%	8.9%	5.9%	0.0%	0.0%	3.5%
<b>対応</b>							
5. 対応できている	15.0%	9.3%	8.9%	13.7%	17.5%	14.8%	13.2%
6. 一部対応できている	56.7%	37.2%	37.9%	33.4%	42.4%	33.4%	41.2%
7. 対応できていない	23.3%	37.2%	32.9%	29.4%	30.0%	29.6%	30.3%
8. 電子データの授受をしておらず、当社には関係ない	1.7%	4.7%	7.6%	13.7%	6.3%	11.1%	7.1%
9. よくわからない	3.3%	11.6%	12.7%	9.8%	3.8%	11.1%	8.2%

0 10 20 30 40 50 60 70

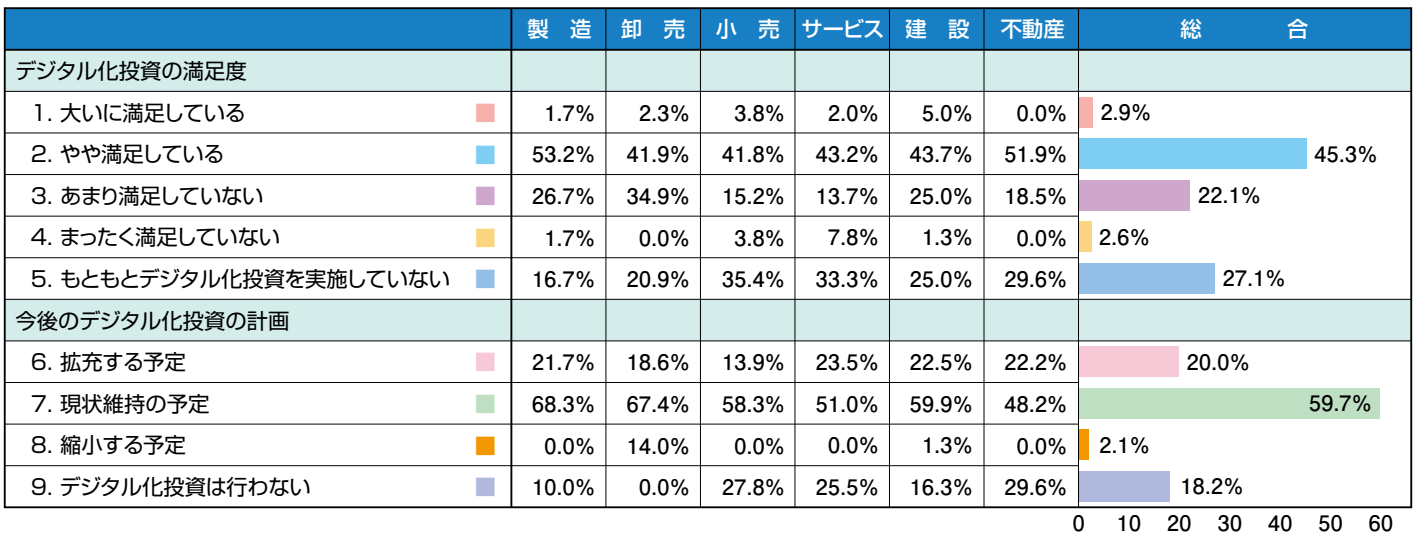
### 問3

貴社では企業間での資金決済の際、手形とでんさい(電子記録債権)をどの程度利用していますか。



### 問4

貴社ではこれまで行ってきたデジタル化投資の費用対効果について、どのように感じていますか。また、今後のデジタル化投資の計画についてお答えください。



### 問5

貴社ではデジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。(3つまで選択)

